

2016 年度以前入学／法学部国際政治学科用 再履修ガイド

外国語 必修科目・選択必修科目の再履修

(前年度以前に単位を修得できなかった場合)

留級した学生は、p.6 以降に後掲の「留級した学生が外国語科目を履修する場合」を参照のうえ履修方法を確認してください。

〔英語の再履修〕

英語必修科目 Academic English の再履修方法には以下の2種類があります。

(ア) 外部英語能力試験のスコアによる代替

(イ) 繰入補講

※英語選択科目受講による代替措置制度は 2018 年度より廃止となっています。

英語選択必修科目の再履修方法には以下の2種類があります。

(ア) 外部英語能力試験のスコアによる代替

(イ) 選択科目の中から履修(学部-(51)参照)

外部英語能力試験のスコアによる未修得単位代替

★新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外部英語能力試験の中止が続いています。2020 年度は指定された期間に受験ができない可能性もあります。特に 2020 年度に履修できないと留級する 3 年次生は、本方法を選択しないようにしてください。」

(以下赤字 4 月 16 日追記) <2020 年度のみ対応> 「TOEFL iBT®」について、「TOEFL iBT® Special Home Edition」での受験を認めます。なお、スコア換算表に変更はありません。特に 2020 年度に履修できないと留級する 3 年次生について、受験できない可能性があることから当初本方法を選択しないよう案内していましたが、希望する場合には、事前に通信環境を自分で確認の上、「TOEFL iBT® Special Home Edition」の受験を行ってください。

英語必修科目「Academic English」と英語選択必修科目を対象とした制度です。

定められた期間内に TOEFL®、TOEIC®、IELTS を受験し、一定スコアを取得した結果を提出することにより英語必修科目または英語選択必修科目の未修得単位が認定されます。いずれの科目も未修得単位を超えた認定はされません。認定には履修登録が必要であり、評価は「R」(認定)となります。

前年度以前に英語必修科目または英語選択必修が不合格または未履修だった場合にのみ適用されます。1 年次生および留級して 1 年次生となった学生は申請はできません。

教員免許取得のために英語の単位を取得する場合はこの方法は適用できません。「繰入補講」で履修してください。

【対象となる試験】

TOEFL® (iBT)、TOEIC® (Listening & Reading)、IELTS(アカデミック・モジュール)

※ただし TOEFL® - ITP、TOEIC® - IP によるスコア認定はできません。 試験の実施日程や受験方法は WEB など各自調べてください。

(4 月 16 日追記) <2020 年度のみ対応> 「TOEFL iBT®」について、「TOEFL iBT® Special Home Edition」での受験を認めます。なお、スコア換算表に変更はありません。

【スコアの有効期間】

2020 年 4 月 1 日以降に実施されたもので、2021 年 1 月 8 日までにスコアの証明書が提出できるもの

【申請手続の流れ】

(1) 2020年度春学期の履修登録期間

Web 履修登録をしてください。履修登録をしていない場合は単位認定されません。この時点でスコアを取得している必要はありませんが、試験のスケジュールやレベルを確認し、十分に検討してから登録してください。

(2) 2020年12月14日(月)～2021年1月8日(金)

スコアの提出

法学部窓口で配布する申請用紙にスコアの証明書(必ず本人写真が掲載されているもの)を添付して申請してください。履修登録をしても、上記指定期間内に申請用紙を提出しない場合は単位は認められません。申請用紙を提出しない場合の成績は「E」評価となります。また、申請用紙を提出してもスコアが達しない場合・スコアを添付していない場合は「D」評価となります。

【注意事項】

(1) 同じ科目について「繰入補講」と「スコア認定」を併用することはできません。2科目以上再履修する場合は1つの科目について1つの方法であれば、2つの方法を併用することができます。

例① 再履修する科目が1科目「Academic English I」のみの場合

再履修の方法は「繰入補講」と「スコア認定」のいずれか(併用は不可)。

例② 再履修する科目が2科目「Academic English I」「Academic English II」の場合

「Academic English I」は「繰入補講」、「Academic English II」は「スコア認定」というように2科目を別々の方法で再履修することが可能。

※1つの科目を2つの方法で再履修することはできない。

※2科目とも同じ方法で再履修してもよい。

(2) 2018年度から、外部英語能力試験のスコアによる単位代替制度は、英語選択必修科目の単位を修得できなかった場合にも適用されています。

(3) 申請は一年に一回とし、一回の申請で、「Academic English」と選択必修科目の両方のスコア認定を申請することはできません。「Academic English」か選択必修科目かのいずれか一方のみ代替申請可能とします。

(4) 卒業までにスコア認定により代替できる合計単位数の上限は4単位とします。

(5) 履修登録期間終了後、年度途中で「スコア認定」を登録したり、登録を取り消したりすることはできません。また、秋学期の履修修正期間においてもスコア認定にかかわる履修登録変更はできません。

(6) 取得したスコアが、履修登録した科目数(単位数)のスコア基準よりも低い場合は、【外部英語能力試験スコア認定 単位換算表】に表記されている科目数(単位数)だけ認定されず(認定する科目は大学が決定します)。認定されなかった分の科目は「D」評価として成績通知書に表記されます。

例) 2科目履修登録したが1科目分のスコアしか取得できなかった。→1科目分のみ認定

(7) 取得したスコアが高くても履修登録していない科目を認定することはできません。

例) 1科目履修登録したが2科目分のスコアを取得できた → 1科目分のみ認定

(8) スコアの証明書は本人写真が掲載されたもののみ認めます。本人写真の掲載されていない証明書は認めません。

【外部英語能力試験スコア認定 登録番号・単位換算表】

(1) Academic English I / II

スコア認定で 修得したい科目	履修登録確認通知書・ 成績通知書での表記	曜日・時限	登録番号	認定単位数
Academic English I	Academic English I (スコア認定)	集中・その他	A0907	2単位
Academic English II	Academic English II (スコア認定)	集中・その他	A0908	2単位

換算表は今年度用です。次年度以降は変更になる場合があります。		認定科目数(単位数)
2科目認定スコア	TOEFL® iBT 57点以上, TOEIC® 600点以上, IELTS 5.5以上	2科目(4単位)まで認定
1科目認定スコア	TOEFL® iBT 45点以上, TOEIC® 500点以上, IELTS 5.0以上	1科目(2単位)まで認定
上記スコア未満	TOEFL® iBT 44点以下, TOEIC® 499点以下, IELTS 4.5以下	認定不可

※上記換算表は、2017年度より変更となりましたので注意してください。

(2) 選択必修科目(2018年度以降)

認定を希望する科目数に応じて、次のように履修登録してください。

1科目認定→①を登録 / 2科目認定→①②を登録 /

3科目を認定→①②③を登録 / 4科目を認定→①②③④を登録

例) 英語選択必修科目のうち、2単位をスコア認定で修得したい

→ 「英語選択必修科目スコア認定①」、「英語選択必修科目スコア認定②」の2科目を履修登録する

スコア認定で 修得したい科目	履修登録確認通知書・ 成績通知書での表記	曜日・時限	登録番号	認定単位数
英語選択必修科目	英語選択必修スコア認定①	集中・その他	A0782	1単位
英語選択必修科目	英語選択必修スコア認定②	集中・その他	A0783	1単位
英語選択必修科目	英語選択必修スコア認定③	集中・その他	A0784	1単位
英語選択必修科目	英語選択必修スコア認定④	集中・その他	A0785	1単位

換算表は今年度用です。次年度以降は変更になる場合があります。		認定科目数(単位数)
Aスコア	TOEFL® iBT 88点以上, TOEIC® 800点以上, IELTS 6.5以上	4科目(4単位)まで認定
Bスコア	TOEFL® iBT 71点以上, TOEIC® 700点以上, IELTS 6.0以上	3科目(3単位)まで認定
Cスコア	TOEFL® iBT 57点以上, TOEIC® 600点以上, IELTS 5.5以上	2科目(2単位)まで認定
Dスコア	TOEFL® iBT 45点以上, TOEIC® 500点以上, IELTS 5.0以上	1科目(1単位)まで認定
Dスコア未満	TOEFL® iBT 44点以下, TOEIC® 499点以下, IELTS 4.5以下	認定不可

繰入補講

英語必修科目「Academic English I」「Academic English II」を対象とした制度です。
再履修方法検討中のため、4月20日(月)を目途に発表します。

再履修方法については、下記を確認してください。

〔諸外国語の再履修〕 ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語

諸外国語の再履修方法については、以下の種類があります。
いずれかの方法を選んで、または組み合わせて、再履修単位数分を履修してください。

繰入補講

[2020年度ILAC/市ヶ谷基礎科目・総合科目時間割表](#)から、再履修したい科目の授業（修得できなかった科目と同じ科目名の授業）を探して履修してください。修得できなかった科目と同じ科目名の授業であればクラス指定はありません。

まずは春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。（秋学期科目のみの場合も必ず春学期初回授業前日までに仮登録をしてください。）

＜以下の手順で履修登録、受講してください＞

- ①習熟度別クラス開始（5月30日（土））されるまでは、**学習支援システムにて国際政治学科1年生向け共通授業に参加してください。**共通授業は現在準備中です。準備でき次第、[ILAC臨時WEB掲示板](#)でお知らせしますので、**授業コードを確認し自分で仮登録してください。**
- ②履修登録期間中に、**希望する授業の履修登録を自分で行ってください。**
※登録者数によっては、別クラスの受講について事務から連絡をする場合があります。
- ③履修登録確定後、履修する授業情報が学習支援システムに反映されますので、履修登録した授業に参加してください。

※中国語1年次科目のみ下記パターンから参照してください。

↓たて方向に見て、自分がどのパターンなのか確認してください。↓ 「○」は単位修得済み（合格）、「再履」は単位未修得（不合格＝再履修）															
中国語(1) I (春学期)	再履	○	○	○	再履	○	○	再履	再履	○	再履	再履	再履	○	再履
中国語(1) II (秋学期)	○	再履	○	○	再履	○	再履	○	○	再履	再履	再履	○	再履	再履
中国語(2) I (春学期)	○	○	再履	○	○	再履	再履	○	再履	○	再履	○	再履	再履	再履
中国語(2) II (秋学期)	○	○	○	再履	○	再履	○	再履	○	再履	○	再履	再履	再履	再履
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
再履修のケース→	A	B	A	B	C	C	C	C	D	E	F	G	F	G	H

■再履修の方法（A～Hパターン）

A	秋学期に『中国語補講※学部指定あり』を受講 秋学期に「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（ 「◆クラス授業以外で履修できる4群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号」 参照）で登録すること。
B	春学期に『中国語補講※学部指定あり』を受講 春学期に「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（ 「◆クラス授業以外で履修できる4群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号」 参照）で登録すること。
C	春学期、秋学期ともに『中国語補講※学部指定あり』を受講 春学期、秋学期ともに「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（ 「◆クラス授業以外で履修できる4群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号」 参照）で登録すること。

D	<p>秋学期にクラス授業で受講 法文堂のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1Ⅱ」と「中国語2Ⅱ」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。 例）法学部1年Y組aクラスの「中国語（1）Ⅱ」を受講する場合は「中国語（2）Ⅱ」も法学部1年Y組aクラスの授業を受講する。</p>
E	<p>春学期にクラス授業で受講 法文堂のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1Ⅰ」と「中国語2Ⅰ」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。 例）法学部1年Y組aクラスの「中国語（1）Ⅱ」を受講する場合は「中国語（2）Ⅱ」も法学部1年Y組aクラスの授業を受講する。</p>
F	<p>春学期はクラス授業で受講、秋学期は『中国語補講※学部指定あり』を受講 <春学期> 法文堂のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1Ⅰ」と「中国語2Ⅰ」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。 例）例）法学部1年Y組aクラスの「中国語（1）Ⅰ」を受講する場合は「中国語（2）Ⅰ」も法学部1年Y組aクラスの授業を受講する。 <秋学期> 「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（◆クラス授業以外で履修できる4群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号）参照で登録すること。</p>
G	<p>春学期は『中国語補講※学部指定あり』を受講、秋学期はクラス授業で受講 <春学期> 「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（◆クラス授業以外で履修できる4群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号）参照で登録すること。 <秋学期> 法文堂のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1Ⅱ」と「中国語2Ⅱ」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。 例）例）法学部1年Y組aクラスの「中国語（1）Ⅱ」を受講する場合は「中国語（2）Ⅱ」も法学部1年Y組aクラスの授業を受講する。</p>
H	<p>春・秋学期ともにクラス授業で受講 <春学期> 法文堂のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1Ⅰ」と「中国語2Ⅰ」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。 例）法学部1年Y組aクラスの「中国語（1）Ⅰ」を受講する場合は「中国語（2）Ⅰ」も法学部1年Y組aクラスの授業を受講する。 <秋学期> 法文堂のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1Ⅱ」と「中国語2Ⅱ」を選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。 例）法学部1年Y組aクラスの「中国語（1）Ⅱ」を受講する場合は「中国語（2）Ⅱ」も法学部1年Y組aクラスの授業を受講する。</p>

補講クラス（朝鮮語除く）

市ヶ谷リベラルアーツセンター（ILAC）臨時WEB掲示板に掲載の「[◆クラス授業以外で履修できる4群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号](#)」の法学部国際政治学科から、再履修したい科目の「補講」を履修してください。
 履修登録の際、修得したい科目（修得できなかった科目）用の2016年度以前入学生の登録番号で登録してください。

まずは春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。（秋学期科目のみの場合も必ず春学期初回授業前日までに仮登録をしてください）。

4群選択科目で代替（ロシア語除く）

市ヶ谷リベラルアーツセンター（ILAC）臨時WEB掲示板に掲載の「[◆クラス授業以外で履修できる4群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号](#)」の法学部国際政治学科から、再履修したい科目に代替できる「4群諸外国語選択科目」を履修してください。

履修登録の際、修得したい科目（修得できなかった科目）用の登録番号で登録してください。

代替できるのは別表の「4群諸外国語選択科目」の登録番号に載っている科目だけです。科目によっては代替できる必修科目が限定されているものもあります。

まずは春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。（秋学期科目のみの場合も必ず春学期初回授業前日までに仮登録をしてください）。

※フランス語の「フランス語視聴覚Ⅲ／Ⅳ」「時事フランス語Ⅰ／Ⅱ」は履修年次が限定されているため、当該年次以外の学生は再履修の代替として履修することはできません。

【注意事項】

いずれの方法でも以下の点に注意してください。

- (1) 秋学期の科目を春学期に再履修するなど「期」が違う場合は再履修できません。
- (2) 春学期第一回目の授業時に必ず担当教員の許可を得てください。
- (3) 春学期第一回目の授業に出席しないと担当教員の許可が得られない場合があります。
 ※受講希望者が多数の場合は希望通りの授業を履修できない場合があります。
 ※秋学期科目だけ再履修する場合も春学期第一回目の授業に出席して担当教員の許可を得てください。
- (4) 同じ科目の春学期（Ⅰ）と秋学期（Ⅱ）の両方を再履修する場合は春学期と秋学期で同じクラスの授業を履修してください。

留級した学生が外国語科目を履修する場合

※前年度までに単位を修得した科目は履修する必要はありません。

※未修得の科目は、前年度に履修（受講）したかどうかにかかわらず以下の表に従ってください。

< 1年次留級生が外国語必修科目を履修する場合 >

英語必修	Academic English I	クラス指定があります。1年次クラス授業を履修します。年度当初に予定していた英語試験は、オンラインにて実施する予定です。受験期間や受験方法等の詳細は、追って ILAC臨時WEB掲示板 にてお知らせします。期間内に受験してください。
	Academic English II	クラス指定があります。6月に実施する指定の試験を必ず受験してください。 ※Academic English IIは秋学期に履修登録します。
諸外国語必修	〇〇語（1）Ⅰ／Ⅱ	クラス指定があります。 2020年度ILAC/市ヶ谷基礎科目・総合科目時間割表 により、自分の時間割を確認してください。
	〇〇語（2）Ⅰ／Ⅱ	
英語選択	マスメディアの英語Ⅰ	国際政治学科生用推奨クラスとして開講されます。左記以外の選択科目は学部-(51)を参照してください。
	マスメディアの英語Ⅱ	

< 2年次留級生が外国語必修科目を履修する場合 >

英 必 語 修	Academic English I Academic English II	前ページに記載の通り履修してください。
諸 外 国 語 必 修	〇〇語 (1) I / II 〇〇語 (2) I / II	
	〇〇語 (3) I / II	クラス指定があります。「 2020年度 ILAC/市ヶ谷基礎科目・総合科目時間割表 」により、自分の時間割を確認してください。

※選択英語は2年次までに必要な単位数(4単位)を満たすように履修することを強く推奨します。
1年次に選択英語を未修得の場合、選択英語科目の中からさらに2単位以上履修することが望ましい。

< 3年次留級生が外国語必修科目を履修する場合 >

英 必 語 修	Academic English I Academic English II	「外国語 必修科目・選択必修科目の再履修」に記載の通り履修してください。
諸 外 国 語 必 修	〇〇語 (1) I / II	
	〇〇語 (2) I / II	
	〇〇語 (3) I / II	

※選択英語は必要な単位数(4単位)を満たすように履修・修得してください。